

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名： 腰椎椎間板ヘルニアに対する高周波熱凝固電極(L' DISQ)を用いた
椎間板内減圧術の術後成績の検討』

研究機関名： 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者： 脳神経外科 職位・氏名： 講師(病院)・伊藤圭介

【試料・情報の利用目的】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では腰椎椎間板ヘルニアの腰痛および下肢痛に対し、高周波熱凝固電極*（製品名： L' DISQ）を用いて椎間板内減圧術（つかんばんないげんあつじゅつ）を施行した患者さんを対象とし、本研究を計画しました。

取得した情報は、痛みの抑制効果を検証することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、今後のより良い治療方法のご提案につながります。

* 高周波熱凝固電極(こうしゅうは ねつぎょうこ でんきよく):

高周波で発した熱エネルギーにて椎間板内の組織を安全に焼いて体積を減らすことで痛みを少なくする器具。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報： 年齢、性別、腰痛・下肢痛の VAS (Visual Analogue Scale) スコア、ODI (Oswestry Disability Index) スコア等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024 年 10 月より利用を開始します。

【試料・情報の取得方法】

対象者： 2020 年 1 月～2025 年 12 月までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科において、腰椎椎間板ヘルニアの診断で、L' DISQ による椎間板内減圧術を受けた方。
(約 50 例)

方 法： 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析し、術前後での疼痛抑制効果を検証します。

【研究組織】

代表施設名： 東邦大学医療センター大橋病院

研究代表医師： 脳神経外科 伊藤圭介 役職： 講師(病院)

共同研究者： 整形外科 武者芳朗 役職： 教授、
整形外科 坂本徹夫 役職： 助教(任期)

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科 伊藤圭介

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026 年 2 月 28 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は、利用を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科

職位・氏名： 講師(病院)・伊藤圭介

電話： 03-3468-1251 内線： 7433